

作成日 1996年10月02日  
改訂日 2026年03月10日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ホクコークリンチャーEW
整理番号	1308-21
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農業(除草剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

### 2. 危険有害性の要約 ~ 16. その他の情報

添付の「**コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社** クリンチャーEW™ 安全データシート(改訂日: 2025年03月17日)」を参照のこと。

## クリンチャー™EW

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : クリンチャー™EW

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

## 会社情報

## 製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社  
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190  
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬 (除草剤)

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

発がん性 : 区分 2

誤えん有害性 : 区分 1

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 2

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 2

## GHS ラベル要素

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
H351 発がんのおそれの疑い。  
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き :

**安全対策:**  
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**応急措置:**  
P301 + P310 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。  
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
P331 無理に吐かせないこと。  
P391 漏出物を回収すること。

**保管:**  
P405 施錠して保管すること。

**廃棄:**  
P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性  
知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート(別名シハロホップブチル)	122008-85-9	30	4-(7)-1745
ソルベント ナフサ	64742-94-5	26	9-1691
プロピレングリコール	57-55-6	8.0	2-234
2-メチルナフタレン	91-57-6	6.7	4-80

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

ナフタレン	91-20-3	3.6	4-311
1-メチルナフタレン	90-12-0	3.2	4-80

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。  
呼吸困難の場合は、有資格者が酸素吸入を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で15~20分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 眼に入った場合 : 眼を開いたまま15~20分間でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 飲み込んだ場合 : 嘔吐させない。直ちに医師の診察を受けるか、救急病院に搬送する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。  
ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。
- 医師に対する特別な注意事項 : 患者に十分な換気および酸素吸入を維持すること。  
喘息の様な(反応性気道)症状を起こすことがある。気管支拡張薬、去痰薬、鎮咳薬およびコルチコステロイドが有効なことがある。  
特別な解毒剤はない。  
ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。  
中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。  
皮膚接触により既存の皮膚炎が悪化することがある。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧  
耐アルコール泡消火剤  
二酸化炭素 (CO2)  
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。  
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼副産物  
火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。  
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:  
炭素酸化物  
窒素酸化物 (NOx)
- 特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。  
区域から退避させること。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。  
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。  
  
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。  
保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 十分な換気を確保する。  
保護具を使用する。  
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。  
環境への放出は必ず避けなければならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。  
汚染された洗浄水を保管し、処分する。  
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。  
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目12の環境影響情報を参照。

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

封じ込め及び浄化の方法及び 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。  
機材 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。  
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。  
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。  
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。  
漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

安全取扱注意事項 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。  
曝露を避けるー使用前に特別指示を受ける。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
蒸気やミストの吸い込みを避けること。  
飲み込まない。  
眼との接触を避ける。  
皮膚への長期のまたは反復接触を避ける。  
容器を密閉しておくこと。  
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。  
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸  
強塩基類  
強酸化剤

## 保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。  
適切なラベルのついた容器に入れておく。  
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
ソルベント ナフサ	64742-94-5	TWA	100 mg/m <sup>3</sup>	Corteva OEL
		STEL	300 mg/m <sup>3</sup>	Corteva OEL
		TWA	200 mg/m <sup>3</sup> (総炭化水素蒸気)	ACGIH
2-メチルナフタレン	91-57-6		0.05 ppm 3 mg/100 cm <sup>2</sup>	ACGIH
ナフタレン	91-20-3	ACL	10 ppm	安衛法 (管理濃度)
		TWA	10 ppm	Dow IHG
		STEL	15 ppm	Dow IHG
		TWA	10 ppm	ACGIH
1-メチルナフタレン	90-12-0		0.05 ppm 3 mg/100 cm <sup>2</sup>	ACGIH
3,4-ジフルオロベンズニトリル	64248-62-0	TWA	1 mg/m <sup>3</sup>	Corteva OEL
		STEL	3 mg/m <sup>3</sup>	Corteva OEL

**設備対策** : 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。  
許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。  
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

**保護具**

**呼吸用保護具** : 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。  
許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。  
特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。  
緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

**手の保護具**

**備考** : 長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ポリエチレン。エチルビニルアルコールラミネート (EVAL)。スチレン/ブタジエンゴム。許容できる手袋の素材の例：ブチルゴム。塩素化ポリエチレン。天然ゴム (ラテックス)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)。ポリ塩化ビニル (PVC または ビニル)。バイトン。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要因 (切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

**眼の保護具** : 安全メガネ (サイドシールド付) を着用する。  
ばく露により眼に不快感がある場合は、フルフェイス型呼吸器を使用する。

**皮膚及び身体の保護具** : 清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

クリンチャー<sup>™</sup>EW

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 類白色
臭い	: 芳香臭
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: データなし
凝固点	: データなし
沸点/沸騰範囲	: 363 ° C
可燃性 (固体、気体)	: データなし

## 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : > 100 ° C

方法: 密閉式引火点試験  
データなし

自己発火性 : データなし

分解温度 : データなし

pH : データなし

蒸発速度 : データなし

自然発火点 : データなし

## 粘度

粘度(粘性率) : データなし

動粘度 (動粘性率) : データなし

## 溶解度

水溶性 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 : データなし  
(log 値)

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度 密度	: 1.05 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	: データなし
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし
粒子特性 粒子サイズ	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 強酸 強塩基類 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。 分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 炭素酸化物 窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) 塩化水素ガス

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

製品:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット、オス): 3,883 mg/kg LD50 (ラット、メス): 2,992 mg/kg
急性毒性 (経皮)	: LD50 (ラット、オスおよびメス): > 2,000 mg/kg

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

**成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg  
症状: この濃度では死に至らない。
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット、オスおよびメス): > 5.63 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット、オスおよびメス): > 2,000 mg/kg  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

**ソルベント ナフサ:**

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : 備考: 長期間、ミストに過剰暴露すると有害影響を起こすことがある。  
過剰暴露すると、上気道(鼻と喉)および肺に刺激作用を来すことがある。  
過剰暴露の症状は麻酔作用ないし催眠作用であると思われる; めまいおよび眠気が認められることがある。
- LC50 (ラット): > 4.8 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- LC50 (ラット): > 0.2 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
症状: 飽和状態での暴露による死亡は認められなかった。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。  
備考: 類似物質について

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

## プロピレングリコール:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 20,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ウサギ): 317.042 mg/l  
曝露時間: 2 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。  
備考: ミストは上気道(鼻と喉)を刺激することがある。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

## 2-メチルナフタレン:

- 急性毒性 (経口) : 備考: 誤飲した場合、弱い毒性を示す。  
通常の作業での誤飲では傷害は起こらないであろう。ただし、大量に誤飲すると傷害を引き起こすことがある。
- LD50 (ラット): 1,630 mg/kg

## ナフタレン:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
- 致死量 (ヒト): 5~15 g  
方法: 推定値。  
備考: 過剰暴露によって溶血を引き起こすことがあり、したがって血液の酸素運搬機能が低下する。  
ヒトがナフタレンを経口摂取すると、溶血性貧血が起こった。  
誤飲による毒性は、動物よりもヒトの方が強いかもしれない。  
ヒトでは、以下の症状が認められることがある：  
意識混濁。  
倦怠感。  
筋攣縮あるいは痙攣  
痙攣。  
昏睡。
- 急性毒性 (吸入) : 備考: 過剰暴露すると、上気道(鼻と喉)に刺激作用を来すことがある。  
過剰暴露すると、肺障害を来すことがある。  
過剰暴露による徴候および症状は以下を含む：  
頭痛。  
意識混濁。

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

発汗。  
吐き気や嘔吐。

LC50 (ラット): > 0.41 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
症状: LC50 値は、到達可能な最高濃度よりも大きい。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 2,500 mg/kg  
備考: ヒトの症例報告は、特に子供で、有毒量のナフタレンが経皮吸収されることがあることを示している。

LD50 (ウサギ): > 2,500 mg/kg

**1-メチルナフタレン:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 1,840 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LDLo (ウサギ): 7,500 mg/kg

**皮膚腐食性/刺激性****製品:**

結果 : 皮膚刺激なし

**成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート (別名シハロホップブチル):

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし

**プロピレングリコール:**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性****製品:**

結果 : 眼への刺激なし

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

**成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**プロピレングリコール:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****製品:**

アセスメント : 皮膚感作性なし

**成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

試験タイプ : ビューラー法  
種 : モルモット  
結果 : 皮膚感作性なし

**ソルベント ナフサ:**

種 : ヒト  
結果 : 皮膚感作性なし  
備考 : 類似物質について

**プロピレングリコール:**

種 : ヒト  
結果 : 皮膚感作性なし

**ナフタレン:**

種 : モルモット  
結果 : 皮膚感作性なし

**生殖細胞変異原性****成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
動物遺伝毒性試験は陰性だった。

## ソルベント ナフサ:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

## プロピレングリコール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

## 2-メチルナフタレン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
ント

## ナフタレン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

## 発がん性

## 成分:

ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

## ソルベント ナフサ:

発がん性 - アセスメント : いくつかの試験動物で発がん性のあったナフタレンを含有。ヒトでは、ナフタレン製造に関わる作業員に、発がん性に関する限定的な証拠が認められる。ラットを対象にした限定的な経口投与試験の結果は陰性であった。動物実験において発がん性の限定的な証拠がある。

## プロピレングリコール:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

## 2-メチルナフタレン:

発がん性 - アセスメント : 入手可能なデータは、発がん性を評価するのに十分ではない。

## ナフタレン:

発がん性 - アセスメント : いくつかの実験動物で発がん性が認められた。ヒトでは、ナフタレン製造に関わる作業員に、発がん性に関する限定的な

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

証拠が認められる。ラットを対象にした限定的な経口投与試験の結果は陰性であった。動物実験において発がん性の限定的な証拠がある。

**生殖毒性****成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。  
実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。

動物試験で催奇形性はなかった。

**ソルベント ナフサ:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

**プロピレングリコール:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。動物試験では、繁殖性を阻害しなかった。  
動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

**ナフタレン:**

生殖毒性 - アセスメント : 入手可能データは生殖影響を決定するには不十分である。  
動物試験で催奇形性はなかった。

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)****製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

**成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

**ソルベント ナフサ:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

**プロピレングリコール:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

**2-メチルナフタレン:**

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

**ナフタレン:**

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

**1-メチルナフタレン:**

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）****成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

**反復投与毒性****成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：  
腎臓。  
肝臓。  
胆嚢。

**溶剤 ナフサ:**

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：  
肺。  
消化器官。  
甲状腺。  
尿路。  
これらの影響が生じる摂取量は、使用中の暴露による想定される摂取量の何倍も高い摂取量である。  
ナフタレン蒸気やダストの繰り返し暴露で、ヒトに対し、白内障や他の眼の影響が報告されている。

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

---

**プロピレングリコール:**

備考 : プロピレングリコールに反復過剰暴露すると、まれに中枢神経系影響を起こすことがある。

**2-メチルナフタレン:**

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：肺。  
しかし、影響は特定の種においてでありヒトには適用しない。

**ナフタレン:**

備考 : 動物にみられる所見には以下のものがある：呼吸器への影響。  
過剰暴露によって溶血を引き起こすことがあり、したがって血液の酸素運搬機能が低下する。  
ナフタレン蒸気やダストの繰り返し暴露で、ヒトに対し白内障や他の眼の影響が報告されている。  
ヒトがナフタレンを経口摂取すると、溶血性貧血が起こった。

**1-メチルナフタレン:**

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

**誤えん有害性****製品:**

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

**成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

物性上、誤えん有害性は低い。

**ソルベント ナフサ:**

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

**プロピレングリコール:**

物性上、誤えん有害性は低い。

**2-メチルナフタレン:**

物性上、誤えん有害性は低い。

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

**ナフタレン:**

物性上、誤えん有害性は低い。

**1-メチルナフタレン:**

飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。

**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:**

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50: 1~10 mg/L)。

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 4.26 mg/l  
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.68 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (藻類): 5.32 mg/l  
曝露時間: 72 h

**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

**成分:**

ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 0.76 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 流水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 2.7 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

EC50 (イースタンオイスター(Crassostrea virginica)): 0.52 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 流水式試験

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

- 藻類／水生生物に対する毒性 : EbC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 1 mg/l  
エンドポイント: バイオマス  
曝露時間: 96 h
- M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性) ) : 1  
魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.134 mg/l  
エンドポイント: 生存  
曝露時間: 28 d  
試験タイプ: 流水式試験
- LOEC (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.287 mg/l  
エンドポイント: 生存  
曝露時間: 28 d  
試験タイプ: 流水式試験
- MATC (Maximum Acceptable Toxicant Level 最大許容毒性レベル) (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.196 mg/l  
エンドポイント: 生存  
曝露時間: 28 d  
試験タイプ: 流水式試験
- ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.0474 mg/l  
エンドポイント: 成長  
曝露時間: 21 d  
試験タイプ: 流水式試験
- M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性) ) : 1  
微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 100 mg/l
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 1,120 mg/kg  
曝露時間: 7 d
- 地上生物に対する毒性 : 備考: 物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない(LD50: > 2,000 mg/kg)。この物質は、混餌投与すると、事実上、鳥に対して毒性を示さない(LC50: > 5,000 ppm)。
- 経口 LD50 (Anas platyrhynchos (マガモ)): > 2,250 mg/kg 体重
- 混餌 LC50 (Anas platyrhynchos (マガモ)): > 5,620 mg/kg 餌  
曝露時間: 8 d
- 経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 µg/bee  
曝露時間: 48 h

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 µg/bee

## ソルベント ナフサ:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50: 1~10 mg/L)。

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 3.0 mg/l

曝露時間: 96 h

試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.1 mg/l  
に対する毒性

曝露時間: 48 h

試験タイプ: 止水式試験

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 7.9 mg/l  
曝露時間: 72 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia pulex (ミジンコ)): 5.2 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性)

エンドポイント: 死亡率

曝露時間: 21 d

方法: 方法不特定.

地上生物に対する毒性 : 備考: 物質は、混餌投与すると、事実上、鳥に対して毒性を示さない(LC50: > 5,000 ppm)。この物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない(LD50: > 2,000 mg/kg)。

混餌 LC50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 6,500 ppm

曝露時間: 5 d

経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2,250 mg/kg

## 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

## プロピレングリコール:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 40,613 mg/l  
曝露時間: 96 h

試験タイプ: 止水式試験

方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC50 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 18,340 mg/l  
に対する毒性

曝露時間: 48 h

試験タイプ: 止水式試験

方法: OECD 試験ガイドライン 202

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

- 藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)):  
19,000 mg/l  
エンドポイント: 生長率阻害  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)):  
に対する毒性 (慢性毒性) 13,020 mg/l  
エンドポイント: 子孫の数  
曝露時間: 7 d  
試験タイプ: 半止水式
- 微生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチ  
ダ)): > 20,000 mg/l  
曝露時間: 18 h

## 2-メチルナフタレン:

- 魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種ではLC50/EC50:  
1~10 mg/L)。  
LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 1.5 mg/l  
曝露時間: 96 h

- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.5 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

## ナフタレン:

- 魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して高い急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種でLC50/EC50/EL50/LL50:  
0.1~1 mg/L)。  
LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.11 mg/l  
曝露時間: 96 h

- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.6~24.1 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式試験

- 藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Skeletonema costatum (スケルトネマ・コスタトゥム)):  
0.4 mg/l  
曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 生長率阻害

- M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性) ) : 1  
魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (その他): 0.37 mg/l

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

エンドポイント: 死亡率  
曝露時間: 40 d  
試験タイプ: 流水式

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1

## 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

## 1-メチルナフタレン:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50: 1~10 mg/L)。

LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 9 mg/l  
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.2~1.4 mg/l  
曝露時間: 48 h

## 残留性・分解性

## 成分:

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート (別名シハロホップブチル):

生分解性 : 結果: 分解性なし  
生分解: 40 %  
曝露時間: 29 d  
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 不合格

ThOD : 1.93 kg/kg

水中での安定性 : 分解半減期: 7 d

光分解性 : 速度定数: 2.18E-11 cm<sup>3</sup>/s  
方法: 測定値

## ソルベント ナフサ:

生分解性 : 結果: 分解性なし  
生分解: 30~41 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 301D あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 不合格

## プロピレングリコール:

## クリンチャー™EW

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

生分解性	: 好気性 結果: 易分解性 生分解: 81 % 曝露時間: 28 d 方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの 備考: 10-day Window: 合格  結果: 易分解性 生分解: 96 % 曝露時間: 64 d 方法: OECD テストガイドライン 306 あるいは同等のもの 備考: 10-day Window: 非該当
生化学的酸素要求量 (BOD)	: 69.000 % インキュベーション時間: 5 d  70.000 % インキュベーション時間: 10 d  86.000 % インキュベーション時間: 20 d
化学的酸素要求量 (COD)	: 1.53 kg/kg
ThOD	: 1.68 kg/kg
光分解性	: 速度定数: 1.28E-11 cm <sup>3</sup> /s 方法: 推定値。
2-メチルナフタレン:	
生分解性	: 結果: 分解性なし 備考: 環境中の分解は遅いと考えられる
ナフタレン:	
生分解性	: 結果: 易分解性。 備考: 好氣的静的試験条件での生分解は高い (BOD20 or BOD28/ThOD: > 40%)
生化学的酸素要求量 (BOD)	: 57.000 % インキュベーション時間: 5 d  71.000 % インキュベーション時間: 10 d  71.000 % インキュベーション時間: 20 d
ThOD	: 3.00 kg/kg

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)  
感作性: OH ラジカル  
含有量: 1,500,000 1/cm<sup>3</sup>  
速度定数: 2.16E-11 cm<sup>3</sup>/s  
方法: 推定値。

## 1-メチルナフタレン:

生分解性 : 結果: 分解性なし  
生分解: 0~2 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 301C あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 非該当

## 生体蓄積性

## 成分:

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート (別名シハロ  
ホップブチル):

生体蓄積性 : 種: 魚類  
生物濃縮因子 (BCF) : < 7  
曝露時間: 28 d  
温度: 25 ° C  
方法: 測定値

n-オクタノール/水分配係数 :  
(log 値) log Pow: 3.32  
方法: 測定値  
備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow:  
< 3)

## ソルベント ナフサ:

生体蓄積性 : 種: 魚類  
生物濃縮因子 (BCF) : 61~159

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 2.9~6.1  
(log 値) 方法: 測定値  
備考: 生物濃縮の可能性は高い (BCF: >3,000、Log Pow: 5~  
7)

## プロピレングリコール:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 0.09  
方法: 推定値

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -1.07  
(log 値) 方法: 測定値

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow: < 3)

**2-メチルナフタレン:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 3.86  
(log 値) 方法: 推定値。  
備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3,000、Log Pow: 3~5)

**ナフタレン:**

生体蓄積性 : 種: 魚類  
生物濃縮因子 (BCF) : 40~300  
曝露時間: 28 d  
方法: 測定値

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 3.3  
(log 値) 方法: 測定値  
備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3,000、Log Pow: 3~5)

**1-メチルナフタレン:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 3.87  
(log 値) 方法: 推定値  
備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3,000、Log Pow: 3~5)

**土壤中の移動性****成分:**

ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート(別名シハロホップブチル):

環境中の分布 : Koc: 5247  
方法: 測定値  
備考: 土壤中移動性は比較的小さいと考えられる (Koc: > 5,000)

**ソルベント ナフサ:**

環境中の分布 : 備考: データなし

**プロピレングリコール:**

環境中の分布 : Koc: < 1  
方法: 推定値  
備考: ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。  
土壤中移動性がきわめて大きい(Koc: 0~50)

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

---

**2-メチルナフタレン:**

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない

**ナフタレン:**

環境中の分布 : Koc: 240~1300  
方法: 測定値  
備考: 土壌中移動性が中程度である (Koc: 150~500)

**オゾン層への有害性****成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート (別名シハロホップブチル):

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**ソルベント ナフサ:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**プロピレングリコール:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**2-メチルナフタレン:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**ナフタレン:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**1-メチルナフタレン:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**他の有害影響****成分:**

ブチル=(R)-2- [4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ] プロピオナート (別名シハロホップブチル):

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

---

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

## ソルベント ナフサ:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

## プロピレングリコール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

## 2-メチルナフタレン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。

## ナフタレン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

## 1-メチルナフタレン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

## クリンチャー™EW

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN 3082  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Cyhalofop-butyl, Solvent naphtha (petroleum), heavy aromatic)

国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9  
環境有害性 : 該当

## 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3082  
国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Cyhalofop-butyl, Solvent naphtha (petroleum), heavy aromatic)

国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : Miscellaneous  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 964  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 964

## 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3082  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Cyhalofop-butyl, Solvent naphtha (petroleum), heavy aromatic)

国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9  
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F  
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 該当 (Cyhalofop-butyl, Solvent naphtha (petroleum), heavy aromatic)  
備考 : Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当) 供給された状態の製品には非該当。

## 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

## 特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 171

## 15. 適用法令

## 関連法規

## 労働安全衛生法

## 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

化学名
ナフタレン

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2（則34条の2別表2）

化学名	含有量 (%)	備考
ブチル= (R) -2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート	>=20 - <30	2026年4月1日以降
石油ナフサ	>=20 - <30	-
プロパン-1, 2-ジオール	>=1 - <10	2025年4月1日以降
ナフタレン	>=3 - <10	-
メチルナフタレン	>=3 - <10	-

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条（則30別表2）

化学名	備考
ブチル= (R) -2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート	2026年4月1日以降
石油ナフサ	-
プロパン-1, 2-ジオール	2025年4月1日以降
ナフタレン	-
メチルナフタレン	-

## 皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第594条の2）

化学名
2-メチルナフタレン
ナフタレン
1-メチルナフタレン

## 特定化学物質障害予防規則 - 第二類物質

化学名
ナフタレン

クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2025/03/17  
1.3 2025/03/17 800080003070 初回作成日: 2024/06/24

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理促進法

## 第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
ブチル= (R) -2- [4- (4-シアノ-2-フルオロフェノキシ) フェノキシ] プロピオナート	361	30
メチルナフタレン	438	10
ナフタレン	302	3.6

## 農薬取締法

## 16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

ACGIH : 米国. ACGIH 限界閾値 (TLV)  
Corteva OEL : Corteva Occupational Exposure Limit  
Dow IHG : ダウ社内ガイドライン  
安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針  
  
ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
Corteva OEL / STEL : 短時間暴露限界値 (STEL) :  
Corteva OEL / STEL : 短時間暴露限度  
Corteva OEL / TWA : 8-hr TWA  
Dow IHG / STEL : 短時間暴露限度  
Dow IHG / TWA : 時間加重平均  
安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 -50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: XGA-2406

## クリンチャー<sup>MEW</sup>

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2025/03/17
1.3	2025/03/17	800080003070	初回作成日: 2024/06/24

---

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA